

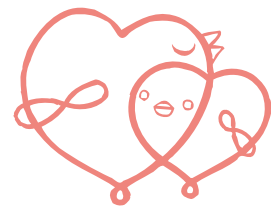


Niigata Chuoh Junior College

子どものために
子どもと共に
学びつづける保育者



GUIDE BOOK 2027



新潟中央短期大学 | 幼児教育科 |

〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2
TEL (0256) 52-2120 FAX (0256) 53-2444

<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp>

[f](https://www.facebook.com/niigatachuoh.tandai) [i](https://www.instagram.com/niigatachuoh.tandai) @niigatachuoh.tandai [x](https://twitter.com/niigata_chutan) @niigata_chutan



 新潟中央短期大学 | 幼児教育科 |

新潟中央短期大学の思い

新潟中央短期大学は、学生の「保育者になりたい!」という気持ちをしっかり受け止め、学生一人ひとりの個性を見ながら、親身な指導で専門性の高い教育を行います。この場所で、成長していく自分に出会ってみませんか。

President 学長紹介



新潟中央短期大学
学長
斎藤 竜夫

College policies

建学の精神
「業学一如」
学は業のためにあり、
業また学でなければ
ならないのである。

教育目標
子どものために
子どもと共に
学びつづける保育者

3 policy 新潟中央短期大学の3ポリシー

1 Admission policy 求める学生像

- 保育・教育・福祉に関わる仕事に就くことを希望し、努力できる人
- 子どもに愛情を持って関わり、子どもを理解しようとする人
- 自らの考えを持ち、また他者と協働しながら学んでいける人

2 Curriculum policy 授業構成について

- 専門的な学修につながる知識・技能や社会人として必要な思考・行動を修得するための教養科目を設置する
- 保育・教育・福祉の場で求められる専門的知識・技能を修得するための科目を設置する
- 授業で修得した知識・技能等について、実践の場で応用・展開できる力を育む実習科目を設置する
- 少人数制のゼミナール形式の授業を設け、主体的に学ぶ姿勢・態度及び協働して課題を解決する力や論理的な思考力を育む科目を設置する
- 表現技法の習得を通して、子どもの成長と発達を援助する力と人間の成長を図る科目を設置する

3 Diploma policy 育てたい学生像

- 子どもの成長と発達を援助する専門的知識及び技能を身につけている
- 適切な保育を行うために必要な思考力、判断力、表現力を身につけている
- 多様な子どもと子どもを育む環境を理解し、共に学ぶ意欲、態度を身につけている

新潟中央短期大学が 選ばれる理由



Contents

- 03 仕事(ゆめ)への資格
- 04 就職・進路状況
就職サポート
- 05 卒業生紹介
- 07 学修カリキュラム
- 09 授業紹介
- 11 Musical
- 13 地域連携・地域交流
- 15 施設紹介
- 17 キャンパスライフ
- 19 学生生活サポート
学費・学費等支援制度
- 21 新潟中央短期大学
周辺マップ/アクセス
- 22 オープンキャンパス
グループ紹介

Support 1

新潟中央短期大学 独自の学費等支援制度

2年間の学費全額免除 特別給付奨学制度

本学への入学を希望しながら、経済的理由により進学が困難な方を対象に、入学試験前に奨学生を内定する制度です。

特別給付奨学制度をもっと詳しく▶



卒業生の子及び兄弟姉妹等の 入学金減免制度

卒業生または在学生等の親族に対して、進学に係る経済的負担を軽減(入学金の免除)する制度です。

系列校からの入学者に対する 入学検定料減免制度

系列校から本学へ入学する者に対する入学検定料、入学金、授業料を減免する制度です。

▶ その他のサポート制度について詳しくはP19・20へ

Support 2

学生一人ひとりに寄り添い、 向き合ったサポート制度

学生と教員の近さが新潟中央短期大学の特色。親身に手厚くサポート。

学生一人ひとりに寄り添った「学年担任制」

1学年に2人の専任教員が学年担任としてつき、学生が有意義に学生生活を送れるように支援しています。常に学生と良好なコミュニケーションを図り、授業など学修上の問題や学生生活で困ったことがあればいつでも担任教員に相談をすることができます。

何でも相談できる身近な存在「チューター制」

少人数の学生グループに分かれて、グループ毎に異学年合同のレク活動や意見交換会等を実施して、学生生活のより一層の充実を図ります。グループのチューター(教員)は、グループをまとめ、学生一人ひとりの将来の生き方在り方等についてサポートします。

ゆ め 仕事への資格

本学では2年間の所定の課程を修めると、保育士・幼稚園教諭になるために必要な資格・免許の両方を同時取得することができます。

また、社会福祉主事任用資格も取得することができます。



保育士になる

子どもの保育や、子育て家庭支援の 専門スタッフになる

保育士は保育所をはじめ各種の児童福祉施設で子どもの保育と保護者のサポートを行う職種です。保育士の活躍の場としては、保育所以外に、乳児院、児童養護施設、障害児施設などがあります。平成15年に国家資格化されました。

資格

- 保育士資格

主な就職先

- 保育所 ● 託児所 ● 児童館 ● 児童福祉施設 など



幼稚園教諭になる

明るく元気な子どもたちを育て上げる 幼稚園の「せんせい」になる

教育職員免許法に基づく、幼児と直接関わる保育活動に専門的に従事する者の教諭免許です。幼稚園児に対する保育が主な業務ですが、最近では、地域に開かれた園の活動や子育て支援などの業務を担うなど多様な役割が求められています。

資格

- 幼稚園教諭二種免許状

主な就職先

- 幼稚園 など



資格

- 社会福祉主事任用資格

主な就職先

- 福祉事務所
- 福祉関係行政機関
- 民間の社会福祉法人
- 社会福祉協議会 など

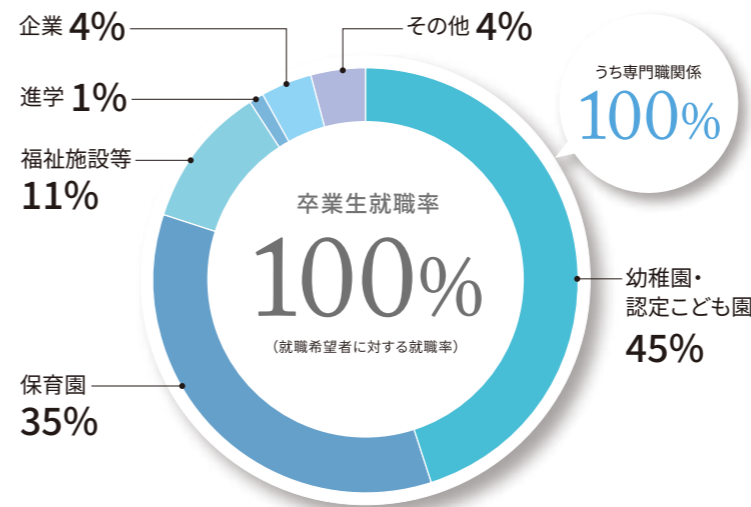
公務員が特定業務に任用される際に必要となる資格

任用資格は、社会福祉法に基づき、国が指定した科目を3科目以上修得することで得られる基礎資格です。しかし、取得するだけでは資格としての効力を活用することはできません。活用するためには、福祉関係行政機関等の公務員(福祉事務所での業務に携わるケースワーカー等)となる必要があります。また、社会福祉法人等の民間では、職員採用の際の資格として準用されることもあります。

社会福祉主事になる (任用資格を活用する)

就職・進路状況

就職・進路情報
Check!!



Q

他大学への編入学は可能ですか?

本学では、新潟県内・県外にある大学など、それぞれ編入可能な指定校推薦枠があります。また、同じ学園内にある新潟経営大学への編入学も可能です。

過去3年間の 主な就職先

※名称は就職時のものです。

公立

三条市/五泉市/小千谷市
燕市/田上町/上越市
南魚沼市/加茂市/新潟市
新発田市/佐渡市 など

幼稚園・ 認定こども園

あそびの森金鶏有明幼稚園
新潟葵こども園
聖ラファエル幼稚園
坂井輪幼稚園
恵泉こども園
聖公会聖母こども園
本量寺こども園
きららおひさまこども園
すみれこども園
おとぎのくにこども園
ほしぞらこども園
認定こども園見附天使幼稚園
中島幼稚園わくわく保育園
認定こども園帝京長岡幼稚園
蔵王のもりこども園
など

保育園

まごころ保育園新発田
細川原保育園
YOUなかの保育園
さつき野保育園
中新田保育園
松美保育園
あそびの森きんし保育園
加茂新田保育園
きらら保育園
長峰保育園
東部どんぐり保育園
花園みどり保育園
にじいろ保育園
赤羽北のそみ保育園(東京都)
など

施設

まごころ学園
ふなおか学園
十字園
聖母乳児院
亀田西ひまわりクラブ
など

進学

新潟青陵大学
新潟医療福祉大学
國學院大学別科
など

就職サポート support

本学には実習や進路指導・就職を支援する学生サポート室を設置しています。

常駐する専任スタッフが学生一人ひとりに向き合ったきめ細やかなサポートと対応を大切にしています。



各種就職講座・ガイダンスの開催

point 1

1年次、2年次に就職ガイダンスを実施しています。また、短大卒程度の公務員試験レベルに合わせた「公務員試験対策講座」や新社会人としての心構えやルールなどを学ぶ「社会人準備セミナー」など、各種就職講座も開催しています。

現場で活躍している卒業生による就職講話

point 2

2年生を対象に、保育園、幼稚園、認定こども園、施設の現場で活躍している卒業生を迎え、就職活動のアドバイス、現場での体験談などさまざまな講話をしていただきます。

年間約2,000件の求人情報の提供

point 3

学生サポート室には年間約2,000件の求人情報が来ます。これらの求人情報を掲示または学生サポート室で見ることができます。

先輩たちが残してきた受験報告書

point 4

過去に先輩たちが就職試験を受験した際に残してくれた受験報告書をいつでも見ることができます。試験の内容、聞かれた質問や注意点、そして後輩へのアドバイスなどが書かれており、とても参考になります。



教員メッセージ

就職活動は誰もが最初は不安だと思います。その不安を少しでも取り除いてあげられるように、また納得のいく就職ができるように、学生の志望を第一に考え、かつ気持ちに寄り添うことを心掛けています。どんな些細なことでも親身になって受け止めますので、いつでも学生サポート室を訪れ、皆さんの夢を実現してください。

卒業生紹介

子どもたちとの出会い、喜び、発見…保育の現場にはたくさんの感動や学びがあります。
夢を叶え、さまざまな現場で活躍している先輩たちより、現在の様子について聞かせてもらいました。

保育教諭

認定こども園
隣保館認定こども園
(新潟市)

大湊 芽夢さん
[令和6年度卒業]



子どもと『一緒に』を大切に

現場での保育という仕事を通して、幼児教育の楽しさや難しさを感じています。私が保育のなかで大切にしていることは、「一緒に」という気持ちです。子どもたちの成長を支えるだけでなく、子どもたちが感じていることや経験していることを大切にしながら関わることを心がけています。そうすることで、子どもたちと同じ目線に立ち、より寄り添った関わりができると考えています。これからも、子どもたちがのびのびと園生活を送れるよう、安心できる存在でありたいです。

保育教諭

認定こども園
あやめ保育園(阿賀野市)

中山 李瑚さん
[令和3年度卒業]



一人ひとりに向き合う保育

新潟中央短期大学での学びは、役立っていることばかりで今に生きています。特に、子ども一人ひとりに向き合った保育を行うということです。実践を通じた豊富な学びや現場経験がある先生からご指導いただき、今の保育に繋がっているのだと思います。子どもの発想力・表現力は、保育者の想像を超え、毎日驚きの連続です。少しでも様々なことを身につけて進級をさせてあげたいという思いを持って、子どもたちとの関わり合いを日々大切にしています。

保育士

まごころ学園(見附市)

小黒 琴音さん
[令和6年度卒業]



一人ひとりの“できる”を一緒に育む

言葉だけでなく、子どもの表情や仕草に耳を傾けながら、「やってみたい」「できた」を大切に支援しています。誰かと一緒に挑戦する楽しさ、助けを求められる勇氣、安心して自分を表現できる場所があること。そういった小さな一歩の積み重ねが、自信と笑顔につながる瞬間に、この仕事のやりがいを感じます。私自身も日々成長の毎日ですが、子どもと共に学び、成長しながら、一人ひとりの可能性を支えていきたいです。

放課後 児童支援員

放課後児童クラブ
あやめ優誠館(阿賀野市)

松尾 美波さん
[令和2年度卒業]



“相手に寄り添う”大切さ

私が新潟中央短期大学で学んだことは「相手に寄り添って関わることの大切さ」だと感じています。講義や実習、学生生活を通し、「相手の気持ちになる」「相手のことを考えて行動、発言する」ことはとても大切なことだと改めて学びました。保育現場では、子どもたち一人ひとりの考えや想いを聞く場面があります。悩むこともありますが、子どものために何が出来るかを考え、その子に合った関わりや寄り添い方を見つけていきたいです。

保育教諭

認定こども園
見附天使幼稚園(見附市)

齋藤 彩名さん
[令和6年度卒業]



子どもたちと楽しいを共有

子どもたちと過ごす毎日はとても刺激的です。様々なことを一緒に体験し、ふとした瞬間に子どもたちの成長を感じ、そして子どもたちと共に自分自身も成長していけることに喜びを感じている毎日です。困難に直面することや心が折れそうになることもありますが、子どもたちの笑顔を見ると心から「頑張ろう」と思えます。子どもたちと楽しいことを沢山共有していけるよう、一人ひとりに向き合い、全力を尽くしていきたいと感じています。

園長

なでしこつぼみ保育園
(新潟市)

堀内 直子さん
[4回生]



よき友、よき先生との出逢いは今でも宝物

私が通っていたころは、幼児教育学科の他に商業科の学生さんもいて、サークルで一緒にいる事もあり、楽しい学校生活を送っていました。また少人数でのゼミでは、先生と学生達との距離も近く感じられ、楽しい話題や困っている時には良き相談相手になって下さいました。また、卒業生の会「雪椿会」では私自身も何年か役員をさせて頂き、母校や懐かしい先生方にお会いできるチャンスを頂きとてもラッキーでした。皆様お一人おひとりの夢が叶いますように！

保育教諭

認定こども園
昭和こども園(東京都)

斉藤 哲也さん
[令和6年度卒業]



頼られる保育者

子どもの気持ちを否定せずに受け止め、安心して頼ってもらえる存在になれるよう、日々学びながら関わっています。子どもの小さな変化や思いに気づけるよう意識し、「大丈夫」「やってみただね」と言葉にして受け止めることを心掛けています。まだ戸惑うこともありますが、困った時に「話してもいい」と思ってもらえる存在を目指し、先輩保育者に学びながら子どもたちと丁寧に向き合っていきたいと思っています。

大学編入学

新潟経営大学(加茂市)

石倉 心結さん
[令和7年度卒業]



楽しく運動に取り組めるように

卒業後、新潟中央短期大学の系列校である新潟経営大学へ編入し陸上競技を続けています。競技を続けながら、体の仕組みや食事、健康についてより専門的に学びたいと思い編入することを決めました。陸上での現場経験を活かし、体を動かす楽しさや健康につながることを子どもたちに伝えていきたいと考えています。子ども一人ひとりの個性に寄り添い、成長・発達を支えられる保育者になれるよう、学びを深めていきたいと思っています。

※系列校である新潟経営大学への編入学は、入学金が免除になり授業料が減額されます。



学修カリキュラム

小規模校の特徴を活かしたきめ細かい少人数制指導のもと、「大学」という場だからこそできる強固な「知識」と「実践」の基盤づくりに力を入れています。専門性の土台を築く教養科目と、現場に強い人材育成に照準をあてた専門教育科目で、バランスのとれた学修カリキュラムを実現しています。

授業科目 (幼児教育科)

幼 幼稚園免許状取得に関連する科目 保 保育士資格取得に関連する科目
◎ 必修科目 ○ 選択必修科目

科目群の身につける知識・能力

社会人として、そして保育者として
多様な人々と協働して保育に取り組むための
教養を身につける

1 年 次	
前 期	後 期
幼 保	幼 保
科 目	科 目
<input type="checkbox"/> 心理学	<input type="checkbox"/> 子どもと人権
<input type="checkbox"/> 国語表現法	<input type="checkbox"/> 自然科学概論
<input type="checkbox"/> コミュニケーション論I	<input type="checkbox"/> コミュニケーション論II
<input type="checkbox"/> 音楽概論	
<input checked="" type="checkbox"/> 体育講義	
<input checked="" type="checkbox"/> 体育実技	
<input checked="" type="checkbox"/> コンピューター基礎	

福祉や保育の本質や目的といった
保育の基礎的知識を身につける

<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども家庭福祉
<input checked="" type="checkbox"/> 保育原理	
<input checked="" type="checkbox"/> 教育原理	
<input checked="" type="checkbox"/> 子ども家庭支援論	
<input checked="" type="checkbox"/> 社会的養護I	

子どもの健康・成長・発達を支援するために
必要な、心理、健康、家庭のあり方のための
知識を身につける

<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの保健	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の心理学I(保育の心理学)
--	---

子どもと共に学びつづける保育者として、
保育に必要な内容・方法に関する知識、
技能を身につける

<input checked="" type="checkbox"/> 保育内容総論I	<input checked="" type="checkbox"/> 人間関係指導法
<input checked="" type="checkbox"/> 言語表現	<input checked="" type="checkbox"/> 社会的養護II
<input checked="" type="checkbox"/> 言葉指導法	<input checked="" type="checkbox"/> 表現活動指導法
<input checked="" type="checkbox"/> 表現指導法	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽表現	
<input checked="" type="checkbox"/> ピアノ表現I	
<input checked="" type="checkbox"/> 造形表現I	
<input checked="" type="checkbox"/> 乳児保育I	<input checked="" type="checkbox"/> 健康指導法
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児保育II
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと健康と安全
	<input checked="" type="checkbox"/> レクリエーション実習I
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと健康(集中)	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと環境

保育現場などの実習を通じて
更に学びを深めると同時に
保育現場等の実際を理解する

<input checked="" type="checkbox"/> 教育実習I	<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習I(保育所)
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習指導I(保育所)

保育者として必要な実践力(知識・技能、判断力、
表現力、多様性を受け入れる力、協働する力など)を磨く

保育・教職実践演習(幼稚園)

前 期	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	言語表現	教育実習I	子どもの保健	社会的養護I	選択科目★
2	子ども家庭支援論	体育実技	ピアノ表現I	乳児保育I	社会福祉
3	国語表現法	コミュニケーション論I	造形表現I		コンピューター基礎
4	教育原理	保育原理	表現指導法		言葉指導法
5	音楽表現	心理学	体育講義		保育内容総論I

★…「音楽概論」または「子どもと人権」のどちらかを選択

後 期	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	子どもと環境	レク実習I	ピアノ表現I	コンピューター基礎	子どもと健康と安全
2	子ども家庭福祉	コミュニケーション論II	自然科学概論	保育・教職実践演習	社会的養護II
3	保育の心理学I	保育実習指導I	人間関係指導法	乳児保育II	音楽表現
4		表現活動指導法	造形表現I		健康指導法

※2025年度実績

教員紹介

- 教授：斎藤竜夫(作曲・編曲・合唱指揮・伴奏法・幼児音楽)／小川崇(教育学・社会教育・生涯教育学)
村木薫(美術・造形あそび・プロジェクト型アート・彫刻)
- 准教授：永井裕紀子(子ども理解と保育者の援助・保育者養成)／福原英起(憲法・教育法・子ども家庭福祉・少年司法)
稲場健(臨床心理・社会福祉)
新保憲子(子ども理解と保育者の援助・保育者養成)
- 講師：若井由梨(身体表現・舞踊教育学・ダンス)

2 年 次	
前 期	後 期
幼 保	幼 保
科 目	科 目
<input checked="" type="checkbox"/> 英語会話	
<input checked="" type="checkbox"/> 中国語会話	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日本国憲法

<input checked="" type="checkbox"/> 保育者論
<input checked="" type="checkbox"/> 保育相談の実際
<input checked="" type="checkbox"/> 教育と社会

<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援教育概論	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の心理学II(子どもの理解と援助)	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの保健実習	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの食と栄養I	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの食と栄養II
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児理解と教育相談	

<input checked="" type="checkbox"/> 保育内容総論II	<input checked="" type="checkbox"/> 環境指導法
<input checked="" type="checkbox"/> カリキュラム論	
<input checked="" type="checkbox"/> 幼児教育教材研究	

<input checked="" type="checkbox"/> ピアノ表現II	<input checked="" type="checkbox"/> 造形表現II
<input checked="" type="checkbox"/> 身体表現I	<input checked="" type="checkbox"/> 身体表現II
<input checked="" type="checkbox"/> 乳児保育III	
<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育I	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育II
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと表現	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと人間関係

<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習I(施設)
<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習指導I(施設)
<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習III
<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習指導III
<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習II
<input checked="" type="checkbox"/> 保育実習指導II
<input checked="" type="checkbox"/> 教育実習II

※2025年度学修カリキュラム実績

動画で分かる
幼児教育科!
Check!!



将来の夢

子どもと一緒に笑える
保育者になりたい!

吉沢 桃果さん (幼児教育科2年 新潟第一高校出身)

先生と学生の距離が近く、親身になって向き合ってくれます。授業では現場経験に基づいた話を聞けるので、保育の仕事をより身近に感じることができます。日々の学習の中で「自分も理想の保育者になりたい」という気持ちが強くなり、もっと学びたいという意欲が自然と湧いてきます。



将来の夢

笑顔忘れずに
信頼される保育者になる!!

竹田 彩姫さん (幼児教育科2年 関根学園高校出身)

分からないことはすぐに友達や先生方に相談できる環境です。実際に子どもの遊びを楽しんだり、友達と自由に制作したりする授業はとても楽しいです。ピアノは初心者で弾けるかどうか心配でしたが、一人一人丁寧に教えてくださり、今では弾ける曲が増えてピアノが好きになりました。

長期履修制度とは

長期履修制度は、学校に通う期間を延長することができる制度です。本学でこの制度を利用すると、修業年限2年に1年を加えた、合計3年間でじっくり学びたい」という人も、安心して学ぶことができます。

長期履修制度を利用した場合 2年次前期の時間割(例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	保育実習指導II				
2	英語会話			保育・教職実践演習	
3	幼児理解と教育相談	保育内容総論II	障害児保育I		表現活動指導法
4	障害児保育I	保育実習指導I	カリキュラム論		身体表現I
5					子どもと環境

授業紹介

保育の基礎的な知識から現場で活かせる技能まで、理論と実践を結びつける授業内容で構成されています。本学では、自ら考え、実践できる保育者を育成するため、保育現場に永年勤務してきた先生方からの指導を受け、その知識が活かされています。

求められる

～保育者として必要な力を磨く新潟中央短期大学の学び～



2つの力を持ったプロが指導

幼稚園に勤務して園長経験のある教員や福祉施設において施設長として勤務経験を持つ教員が、そこで培った豊かな経験を活かして責任をもって授業を行っています。小規模校の利点を活かし、学生一人ひとりに目を向け教職員が一体となって学生生活をサポートしています。

力を磨く授業の一部をご紹介します



ピアノ表現Ⅰ・Ⅱ

子どもと音楽表現活動を楽しむための即興力・応用力を身につける

ピアノ技術を高める個人レッスン、弾き歌いやコード伴奏法などを行います。その他、音楽基礎を学ぶ授業もあり、読譜力を高めることができます。



造形表現Ⅰ・Ⅱ

子どもの表現力・創造力・発想力を豊かにする造形力を身につける

自然(葉・花・実・土など)を活かした素材や身近な素材・教材を使って「造形遊び」や「造形表現」の楽しさや喜びを学びます。



その他、学修カリキュラム
授業紹介をもっと詳しく

乳児保育

乳児の発達と生活を支える保育実践の基礎を学ぶ

3歳未満児の生活や遊びと子どもの育ちの繋がりを学びます。また、3歳未満児の育ちを支える保育者の役割について理解を深めます。保育施設での3歳未満児の具体的な姿に触れながら、保育に必要な実践的な感覚を養っていきます。

カリキュラム論

保育士・幼稚園教諭としての知識×実践力×責任ある資質を身につける

日々の保育を実践していくための、幼児教育の基本である法令・要領をベースに学んでいきます。学生自ら、教育ビジョンを主体的に考え作成し保育者として目指す「保育」や「子どもの育ち」を総合的に考える力を身につけます。

保育の心理学Ⅰ・Ⅱ

子どもの発達や心理について学び子どもの理解に基づいた援助や態度を理解する

心理学の知識を基に、愛着・ことば・認知など、幅広く子どもの発達について学びます。そしてその学びを踏まえて、子どもの理解に基づく援助・態度を実践的に理解していきます。

※その他、授業科目の詳細はP07.08 学修カリキュラムページで紹介しています。

保育・教職実践演習 (ゼミナール)

本学独自の教育プログラム。学生は自らテーマを決め、専任教員ごとのゼミでの指導と、学科全体の発表会を通して研究を深めていきます。



領域「身体表現」 若井ゼミ

若井ゼミでは、体を動かしたり表現したりすることが好きな学生たちが、幼児のリズムダンスや運動遊び、子どもの体力低下や運動指導法をテーマにした研究に取り組んでいます。



領域「福祉・心理」 稲場ゼミ

稲場ゼミでは、子どもの心理に関するテーマについて研究しています。子どもの支援についても考察を深めていきます。



領域「音楽表現」 斎藤ゼミ

斎藤ゼミでは音楽表現について、楽しく、真面目に、深く掘り下げています。

保育・教育実習

現場での保育実践はたくさんの発見と学びの場。新潟中央短期大学では、直接子どもたちと触れ合う中で、教育の難しさ、楽しさを体験し、実践力と自信を育てます。子どもたちと一緒に成長する貴重な場です。

実習

1年次

- 教育実習Ⅰ：6月に1週間
- 保育実習Ⅰ：保育所／2月に2週間

2年次

- 保育実習Ⅰ：施設／6月に2週間
- 保育実習Ⅱ・Ⅲ：8月下旬から2週間
- 教育実習Ⅱ：10月に3週間

岩崎 葉夕南さん
(新津南高校出身)



将来の夢
子どもが自分らしくいらゆる環境を支える保育者♡

Q1. どんな思いで実習に臨みましたか？

A1. とても緊張しましたが、子ども一人ひとりに寄り添い成長を支える関わりを学びたいという思いで実習に臨みました。

Q2. 実習はどうでしたか？

A2. 不安でいっぱいスタートでしたが、子どもたちの笑顔や先生方の温かい声がけて気持ちほぐれ、毎日が楽しくなり、実習を最後まで前向きに取り組むことができました。

Q3. 実習で得たものはありますか？

A3. 子どもへの声かけや援助の仕方、場面に応じた対応力が身につく、保育者として必要な視点と考え方を学び、大きく成長できたと感じました。

Q4. 保育者という仕事をどのように感じましたか？

A4. 実習を通して、保育の楽しさとやりがいを感じました。毎日子どもたちの姿に触れながら学びが積み重なっていき、大きな失敗やうまくいかない場面はほとんどありませんでしたが、「もっとこうしたらより良くなるかもしれない」「もっと子どもに寄り添える関わりを探したい」と思う瞬間が増え、より上を目指したいという意欲につながりました。

Musical [ミュージカル]



| 仲間意識を育てる、本学独自の教育科目 | 表現活動指導法(アクティブラーニング型)

演習課題1ではグループ単位で子どものための鑑賞教材としての視点から、素材(合唱・合奏・オペレッタ・手品等)を選定し、作品を制作して、学園祭で発表します。演習課題2ではミュージカル作品を共同制作し、脚本作りやロールプレイングを通じて幼児の心性に係わる知識理解を深めるとともに、表現技法の習熟とコミュニケーション能力の向上を図り、保育者としての実践的指導力を高めています。



新潟中央短期大学 独自のプログラム

1986年から続く「新潟中央短大ミュージカル」。プログラムは、「ミュージカル」と「リズム体操」を二本の柱として構成し、前者を2年次生が、後者を1年次生が演ずるという形式で行われています。いずれも学生全員がそれぞれ何らかの役割を分担して参加するという全学態勢を最大の特徴としています。

文部科学省 「特色ある大学教育支援 プログラム」に認定

「ミュージカル」は保育に関する総合学習の場として設定したものです。世界の名作や創作シナリオのうちから学生全員で一つのミュージカル作品を共同制作することによって、幼児の心性、行動心理に関わる知識理解を体験的に深め、保育者としての実践的指導力を高めようとするねらいがあります。また、この活動が2003年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に認定されました。

地域との連携

来場者は、地域の子どもたち、その両親、一般市民、学生の保護者、本学の卒業生、など老若男女様々。上演に際しては市の教育委員会、公共放送局、新聞社等の後援を得ており、マスメディア各社から、その制作過程や反響を好意的に報道していただいています。近年の来場者は常に900人を超える満席状態となっており、地域社会から好評を得ています。近年では加茂市内の小中学校の総合学習の担当教員から、ミュージカルの制作・練習現場を見学する体験学習の協力依頼も受けています。地域の子どもたちとの共演も実現し、学生との交流もますます深められています。このミュージカルを通じて、地域の方々には本学を教育熱心な短大と好意的にとらえており、また、彼らとのコラボレーションの成果は本学が地域に根ざしているという証です。



斎藤 竜夫

[担当] 表現活動指導法

「一人ひとりを輝かせる教育」をモットーに、個性を大切にしながら共に創り上げていくミュージカル。新潟中央短期大学のミュージカルは全学生が主役です。また地域の子どもたちとの共演も魅力の一つです。そして練習場面では学生たちに「保育者としての心」を喚起させてくれます。このような経験ができるミュージカルの舞台があなたを待っています。

History 1986^{G61}→2025^{R7}

- 第1回(1986年) ● 窓ぎわのトットちゃん
- 第2回(1987年) ● しらゆきひめ
- 第3回(1988年) ● マッチ売りの少女
- 第4回(1989年) ● ぼくはスサノオ
- 第5回(1990年) ● さるの王様
- 第6回(1991年) ● おしいれの冒険

- 第7回(1992年) ● ミツパチマーヤの冒険
- 第8回(1993年) ● オズの魔法使い
- 第9回(1994年) ● ピーターパン
- 第10回(1995年) ● ぼくはスサノオ
- 第11回(1996年) ● 不思議の国のアリス
- 第12回(1997年) ● くるみわり人形
- 第13回(1998年) ● 新ドン・キホーテ
- 第14回(1999年) ● おしいれの冒険
- 第15回(2000年) ● ピーターパン
- 第16回(2001年) ● ぼくはスサノオ

- 第17回(2002年) ● オズの魔法使い
- 第18回(2003年) ● 不思議の国のアリス
- 第19回(2004年) ● ヘンゼルとグレーテルとゆかいな仲間たち
- 第20回(2005年) ● 私の大切なもの～マツユキソウの奇跡～
- 第21回(2006年) ● ピーターパン～仲間がくれた勇気～
- 第22回(2007年) ● オズの魔法使い
- 第23回(2008年) ● 不思議の国のアリス

- 第24回(2009年) ● ヘンゼルとグレーテル～大切な絆～
- 第25回(2010年) ● ぼくはスサノオ
- 第26回(2011年) ● ピーターパン
- 第27回(2012年) ● オズの魔法使い
- 第28回(2013年) ● ふしぎの国のアリス
- 第29回(2014年) ● ピーターパン
- 第30回(2015年) ● 私の大切なもの～マツユキ草の奇跡～
- 第31回(2016年) ● 白雪姫

- 第32回(2017年) ● 不思議の国のアリス
- 第33回(2018年) ● オズの魔法使い
- 第34回(2019年) ● ピーターパン
- 第35回(2021年) ● 白雪姫
- 第36回(2022年) ● 不思議の国のアリス
- 第37回(2023年) ● ピーターパン
- 第38回(2024年) ● オズの魔法使い
- 第39回(2025年) ● 白雪姫

子どもたちの光輝く笑顔のために

地域連携・地域交流

本学では、大学内での学びにとまらず、学生が地域の中で多様な人や出来事と出会い、関わり合いながら自らの力に気づき、他者と協働しながら成長していく保育者を育てています。

出前保育 — 学生主体の地域実践活動 —

保育施設からの依頼を受け、授業で学習した知識・技術を活かして学生たちが現場保育の一端を担う「出前保育」は、本学が力を入れている地域連携・地域交流の活動のひとつです。この活動は2001年度からスタートして、年を重ねるなかで評価が広がり依頼数は増えています。



- 1 地域の保育施設からの依頼** 出前保育の流れ
学生有志がチームを組みます。
- 2 打ち合わせ**
一度現場に出向き、担当者との打ち合わせを行い対象となる子どもたちの年齢層と人数規模を把握した上で、実施計画をまとめます。
- 3 パフォーマンスの練習**
子どもたちや保護者に披露する歌、踊り、合奏、オペレッタ(子ども向け寸劇風ミュージカル)等の企画や練習、準備をしていきます。
- 4 本番当日**
それぞれの個性と特技を活かしながらプログラムを進めていきます。

出前保育から学んだこと

私は、2年間のゼミ活動で田上町と長岡市の子育て支援センターで出前保育の経験を重ねました。出前保育では、ふれあい遊びや手遊び、バルーンなどを通し、子どもたちや保護者の皆様と楽しみながら交流することができました。また、廃材を用いた手作りの道具を持っていき、どのように遊ぶのかを実際に見たり、様々なご意見をいただいたりすることで広い観点から学ぶことができました。

出前保育を通し、人と人が繋がることの大切さや安全面の配慮・環境構成の重要性を知ることができました。この経験で得た学びを保育現場で活かせるように、これからも学びつづけていきたいです。



山田 愛海さん
(巻総合高校出身)



親子と楽しむクリスマス会

毎年、加茂市子育て支援センターのクリスマス会の企画・運営を学生が担当しています。活動を通して、学生と赤ちゃん、そして保護者との間に自然な心のつながりが生まれていきます。遊びや出し物に笑顔や喜びの反応が返ってくることで、保育の面白さを感じる時間となっています。



森のさんぽ

この取り組みは、2004年から学生たちが引き継いで行ってきた活動です。春・夏・秋・冬と一年間を通して、地域の子どもたちと加茂市近郊の森の中や屋外のキャンプ場などで、遊びや制作や食育などの活動を通して自然環境と関わる保育技術を学んでいくものです。



ちびっ子広場 子どもの日ウィーク

子育て支援施設のイベントで、学生ボランティアとして参加しました。職員の皆様と打ち合わせをし、コーナー遊びや製作活動などを楽しみました。参加した子どもたちは、パネルシアタークイズに笑顔で参加し、最後に親子でバルーンをして盛り上がりました。



親子わくわくクッキング体験

親子がともにクッキングをするなかで、喜んだり、驚いたり、発見したり、味わたりしながら、親子間の関係を深め、食への関心と興味を深めるきっかけになればと企画された活動です。

2 行政機関との連携 — 行政と協働して学生を育てる仕組み —

田上町立こども園での学生支援スタッフ

~子どもと“継続して”関わるからこそ、本当の保育が見えてくる~

本学は田上町と連携協定を結び、町立こども園において学生が継続的に保育を体験できる機会を設けています。学生は夕方の保育を担当する学生支援スタッフとして子どもたちと日々関わります。長期的・継続的に子どもと関わることで、子ども理解を深め、保育者としての責任と喜びを実感する学びへとつながっています。



3 保育研究会 — 地域と創る保育実践 —

地域の保育者を招き、講演や話し合いを通して保育について学び合う「保育研究会」を開催しています。また、本学卒業生の会「雪椿会」と連携し、リカレント教育の一環としての保育セミナーも開催しています。大学を拠点としたこれらの取り組みは、地域とともに学び、地域とともに保育を創り続ける実践へとつながっています。



第38回(2019年) / 保育研究会

1部 講演・ワークショップ「**発達多様性を理解し支援する — 保育現場でできること —**」

講師 / 藤原里美先生 (一般社団法人チャイルドフード・ラボ代表理事)

2部 「**明日の保育に生かしたいこと — 藤原先生に聞いてみましょう —**」

保育セミナー / 雪椿会との共同企画 (2024年)

「**子どもの表現を引き出す歌遊び**」 講師 / ロケットくれよん



4 卒業生と学生の座談会 — 卒業生とつながるキャリア支援 —



卒業生の会「雪椿会」とは、卒業生と学生との座談会を実施しています。こども園・児童福祉施設など、さまざまな分野で活躍する卒業生が母校に来て、現場での実践や進路選択の経験、学生時代に取り組んでおくことなどについて語ります。親しみやすい雰囲気の中で、学生は卒業生に率直な思いを伝え、助言をもらっています。

学生の感想

- お給料や勤務形態等、これまでなかなか聞けなかったことを教えてもらえた。
- 私たちの先輩なので、何でも気軽に相談できた。
- 実習に向けてのアドバイスをもらえて嬉しかった。 など

施設紹介

2016年4月に校舎が新しくなりました。新施設は、講義室をはじめ保育実習、小児栄養実習、沐浴実習などの多彩な実習室のほか、ピアノ個人レッスン室も完備。また、レクリエーションやダンスレッスンなどが行えるホールも完備しています。新校舎は、大学校舎とリンクしていることから、大学の施設も利用可能です。もちろん、Wi-Fi環境も整備しており、キャンパス全体で利用できます。これまで以上に広く充実した教育環境を提供しています。



1F 学生サポート室



3F/4F 研究室



1F 保育実習室



A 1F ステップ型エントランス

4階まで直線的に伸びた階段に学生の交流を生む空間が各階に構成された、ステップ型の多目的エントランスです。

B 1F/2F 講義室

大・中・小の講義室を完備。固定机の大講義室(1階)の他は、机を自由にレイアウトし、講義内容や形態に合わせてアクティブな授業を展開できる講義室となっています。

C 4F アップホール・テラス

リズムダンス、ミュージカル、人形劇などさまざまなパフォーマンスをアップさせる開放的なホール・テラスです。

D 3F ピアノ実習室

電子ピアノを40台完備しています。空き時間は自由に使うことができます。



3F 造形実習室



3F 栄養実習室

新潟経営大学の
キャンパスも
利用可能!!



- A 食堂
- B 図書館
- C 情報処理室
- D 売店

新潟中央短期大学の新校舎は新潟経営大学の校舎とリンクしているため、食堂や売店、情報処理室、人工芝グラウンドなど多彩な大学の施設も利用できます。中でも図書館はグループ学習室を新設し、主体的な学びの場「ラーニングコモンズ」機能を整備しました。



勉強もキャンパスライフも全力で楽しんで毎日が充実!
同じ目標を持った友人との笑顔あふれる
キャンパスライフがあなたを待っています♪

My Life Style \ 日常生活を Check!! /

中短生のライフスタイルを大公開!

Lunch Kitchen Car

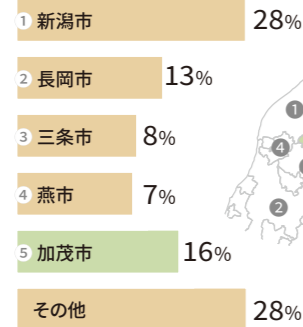


学内にある食堂・売店を利用することもできますが、ランチの時にはキッチンカーが来るのでオシャレなランチを楽しむことができます♪



Q&A

Q1 どこから通学していますか?

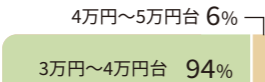


Q2 実家暮らし or 一人暮らし?



大学の近くにもアパートが充実! 地域の方が管理している物件が多数あり、親身になってくれるので女の子の一人暮らしも安心です♪

Q3 アパートの家賃は?



冬の間だけ、一人暮らしをする学生もいます♡

Schedule 年間スケジュール

● 1,2年次生を対象 ● 1年次生を対象 ● 2年次生を対象 ● 学外の一般の方を対象

- 4 ● 入学式
● 新年度ガイダンス
● 宿泊研修(1泊2日)
● 学生会総会
● 新入生歓迎会
- 5 ● ミュージカル
● オープンキャンパス
- 6 ● 保育実習I(施設)
● 教育実習I(幼稚園)
● オープンキャンパス
- 7 ● オープンキャンパス
● 卒業研究中間発表会
● 前期試験
- 8 ● 夏休み開始
● 保育実習II・III(2年生)
● オープンキャンパス
- 9 ● レクリエーション実習II(集中)
● 後期授業開始

- 10 ● 教育実習II(幼稚園)
 - 11 ● 心泉祭(大学祭)
● オープンキャンパス
 - 12 ● 冬季休業開始
● プレカレッジ(新入生対象)
 - 1 ● 授業再開
 - 2 ● 保育実習I(保育所・1年生)
● 後期試験
● 卒業研究発表会
● 保育・教職実践演習テーマ報告会
 - 3 ● 卒業式
● 卒業記念パーティー
● プレカレッジ(新入生対象)
● オープンキャンパス
- ※年度によって異なる場合がございます



HARUKA SAKAI 酒井晴華さん 幼児教育科2年(長岡商業高校出身)

- Q1. 中央短大に入学を決めた理由
学生全員で作上げるミュージカルがあるところに魅力を感じました!
- Q2. 保育者を目指した理由
母園の先生が大好きで憧れていたからです! また、子どもと一緒に遊ぶのが好きで子どもと関わる仕事に就きたいと思いました!
- Q3. 授業について
現場経験のある先生が多いので、現場でのお話を聞かせてくれてとても勉強になります。



将来の夢 >>> 子どもと一緒に学び成長していける保育者♡



MOMO HIRAMATSU 平松百萌さん 幼児教育科2年(加茂高校出身)

- Q1. 中央短大に入学を決めた理由
少人数制で先生との距離が近く、実習や演習が充実していて、自分の課題と向き合いながら成長できると感じ、入学を決めました。
- Q2. 保育者を目指した理由
保育園の先生が人見知りだった私に寄り添ってくれた経験から、私も子どもの気持ちに寄り添い、安心感を与えられる保育者になりたいと思いました。
- Q3. 授業時間外での過ごし方
授業の空き時間には、友達とご飯を食べに行ったりして過ごします!



将来の夢 >>> 1人1人の気持ちに寄り添える保育者になる!



HIBIKI MINOGUCHI 箕口響さん 幼児教育科2年(三条商業高校出身)

- Q1. 中央短大に入学を決めた理由
先生と先輩方の雰囲気がとても良かったからです。
- Q2. 保育者を目指した理由
小さい頃から子どもと接することが多く、これからも子どもと関わっていきたく思い保育者の道を選びました。
- Q3. 授業時間外の過ごし方
先輩たちとゲームをしたり、空き時間がある時は、ご飯を食べに行ったりしています。



将来の夢 >>> 親子を笑顔にできる保育者

学生生活サポート

心身のケア・サポート

健康管理増進室・学校医

学生生活を健やかに安心して送れるように、健康管理増進室には看護師の資格を持った専門スタッフが常駐し、学内での急病やケガなどの応急処置を行います。また、月に1回、学校医による無料健康相談も行っています。

学生教育研究災害傷害保険・実習賠償責任保険

全学生が、入学時から卒業までの期間、安心して学べたり、学生生活を送れるように、授業中や実習中のケガ、通学途中の事故などに適応する保険に加入していただきます。

学生相談室

週に1回、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーと、学生生活に関する悩みや相談などについてカウンセリングを受けることができます。もちろんプライバシーは固く守られます。

AED(自動体外式除細動器)の設置

突然倒れて意識や呼吸がない人に対して、救急車が到着するまでの数分間に早期に心肺蘇生でき、救命率を向上させることができるAED(自動体外式除細動器)を学内に設置しています。



通学サポート

通学バスサービス

JR加茂駅と大学の間をスクールバス(無料)が運行しています(平日のみ)。その他、新潟交通の路線バス(有料)や市営バス(有料)も大学まで運行しています。新潟交通については、回数券購入費用を半額補助しています。

駐車場・駐輪場

駐車場・駐輪場を完備しているため、自動車・バイク・自転車での通学も可能です。自動車通学の場合は、事前に許可を得る必要があります。

その他サポート

事務室サポート

講義の履修登録や通学、各種資格の申請手続きなど事務職スタッフが学生一人ひとりに親切丁寧に対応しています。

更衣室

本学では体育実技など体を動かす授業などもあるため、男女それぞれ更衣室を設置しています。また、更衣室内には温水シャワー室も完備しています。

学生用ロッカー

学生一人ひとりに教科書や所持品などを保管する専用ロッカーを用意しています。ロッカーは鍵付きとなっていますので、安心して利用できます。

連絡網システム「オクレンジャー」の導入

臨時休講や災害時による安否確認などの配信メッセージを携帯電話やスマートフォンで受信できる連絡網システム「オクレンジャー」を導入しています。

無線LANサービス(Wi-Fi)

キャンパス全体に無線LAN(Wi-Fi)環境を整備しています。本学に所属する学生であれば誰でも利用することができます。

学費・学費等支援制度

学費

年間の学費は以下のとおりです。学費納入は、全額一括納入または学期ごとの分納ができます。

区分	分 納		全学一括納入
	入学時	9月末	
入 学 金	230,000	—	230,000
授 業 料	295,000	295,000	590,000
施 設 備 資 金	135,000	135,000	270,000
図 書 費	10,000	5,000	15,000
実 験 実 習 費	25,000	20,000	45,000
合 計	695,000	455,000	1,150,000

(単位:円)

※入学金は、入学初年度のみの納入です。(分延納不可)
 ※入学金以外の学費は2期に分納できます。
 ※上記学費のほかに、保険料、学生自治会費(学友会費)、体育用品、美術用品、研修費等の諸経費が必要となります。
 ※現在、学費の値上げを検討しております。

学費等支援制度

新潟中央短期大学独自の学費等支援制度

新潟中央短期大学特別給付奨学制度

この制度は、新潟中央短期大学に入学を希望しながら、経済的理由により進学が困難な方に対して、早期から進学準備に取り組めるよう、入学試験前に奨学生を内定し、本学への入学の道を開くことを目的としています。奨学金は在学中にかかる学費全額となります。

2年間の学費全額免除

卒業生の子及び兄弟姉妹等の入学金減免制度

この制度は、新潟中央短期大学と卒業生とのつながりを維持し、教育の持続・発展に資するため、卒業生又は在学生等の親族に対して進学に係る経済的負担を軽減(入学金の減免)することを目的としています。

系列校からの入学者に対する入学検定料減免制度

この制度は、系列校から新潟中央短期大学に入学する者に対する入学検定料、入学金、授業料を減免し、加茂院星学園における修学の機会と学業の向上に資することを目的としています。

高等教育の修学支援新制度

この制度は、経済的理由により進学が困難な方に対して、世帯収入や資産の要件を満たしていること、学ぶ意欲がある学生であることの2つの要件を満たす全員が対象となる制度です。

入学金・授業料の免除/減額 + 給付型奨学金の支給

※どのくらいの収入の世帯が対象となるか、どのくらいの給付型奨学金が受けられるかは、日本学生支援機構のホームページでシミュレーションすることができます。

日本学生支援機構・新潟県奨学金

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し貸与されます。入学後の募集と推薦手続きは本学が行います。

種 別	採用基準	自宅通学	自宅外通学	金 利
日本学生支援機構	第一種	月額2万、3万、4万、5万3千円から選択	月額2万、3万、4万、5万、6万から選択	無利子
	第二種	学力・家計の両方の基準を満たす人	月額2万から12万の範囲で1万単位で選択	在学中は無利子 卒業後は有利子(年利上限3%)
新潟県		月額4万3千円	月額4万8千円	無利子

その他の奨学金制度等

新潟県保育士修学資金貸付等事業、地方公共団体奨学金、国の教育ローン(日本政策金融公庫)、あしなが育英会、財団法人交通遺児育英会などがあります。またオリエンテーションと提携した教育ローンの紹介もあります。

※2025年度現在のものとなります

Map 新潟中央短期大学 周辺マップ

キャンパスは古くから北越の小京都と呼ばれた新潟県の中央付近に位置する加茂市にあります。

清らかな加茂川が流れ、豊かな自然に恵まれた街です。



新潟中央短期大学

大学周辺の
おすすめスポット！



道の駅たがみ
田上町の魅力と情報が集まる道の駅。出前保育の会場としても利用しています。

YOU・遊ランド

アスレチックや遊具、キャンプ場などが揃う総合公園。大人も子どもも楽しめます。

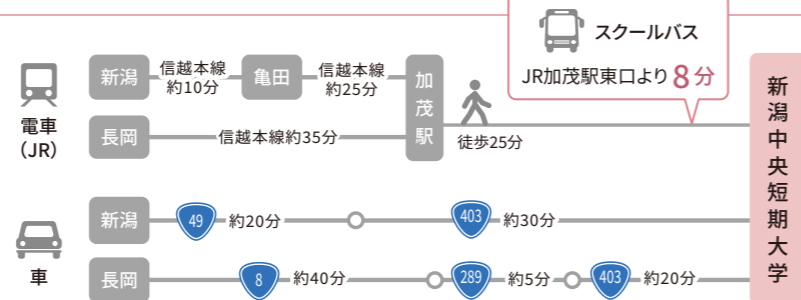
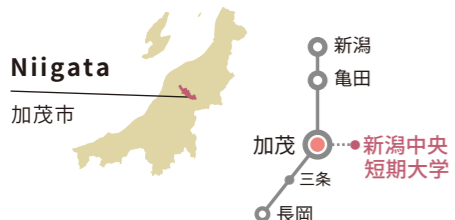


ちょっと足を伸ばして...



- 1 加茂川／四季折々の情景を映し出す散策スポット。越後加茂川夏祭りでは学生も活躍。
- 2 加茂文化会館／中短ミュージカルや卒業式で利用します。
- 3 加茂駅／学生たちが通学によく利用します。
- 4 駅前商店街／レトロな街並み。オシャレなお店が多く学生に大人気。

ACCESS



Open Campus

2026年度
オープンキャンパス

中短の魅力がよく分かるプログラムが満載!!



Program (予定)

- 大学紹介
- 入試説明
- 体験授業
- キャンパスツアー
- 学生スタッフとの交流ワークショップ
- 卒業生講話
- 個別相談
- 学食ランチ
- ミュージカルDVD鑑賞 など

開催日

2026年 5/ 16±	《ミュージカル同時開催》	6/ 6±	7/ 4±
7/ 25±	8/ 29±	10/ 31±	2027年 3月 中旬開催 (予定)

※詳しくはHPをご覧ください。
※保護者の方もお気軽にご参加ください。

オープンキャンパス当日は加茂駅より**無料シャトルバス**を運行します。

出発時間はWebを**Check!!**

詳細&ご予約は**コチラ! Check!!**



加茂暁星学園グループ

高等学校から大学・短期大学をグループで持つことで、より多角的で豊かな教育をすることができます。
※2025年度現在



加茂暁星高等学校

普通科
アカデミックコース
アスリートコース
総合コース
看護科・看護専攻科



新潟経営大学

経営情報学部
経営情報学科
スポーツマネジメント学科



新潟中央短期大学

幼児教育科



ACCREDITED 2020

新潟中央短期大学は、令和2年度（一財）大学・短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。